

琉球ゴールデンキングス Bリーグ 準優勝!!



提供 琉球ゴールデンキングス



提供 琉球ゴールデンキングス

本市をホームタウンとする琉球ゴールデンキングスが、年間チャンピオンを決めるチャンピオンシップ(CS)に出場し、チーム史上初となるBリーグ準優勝を果たしました。

今季は、渡邊飛勇選手、田代直希選手、牧隼利選手がけがで次々と離脱するなか、桶谷大ヘッドコーチの巧みな采配の下、残された選手が絶妙なチームワークを発揮し、B1リーグ最多連勝(20連勝)や最高勝率(.875/49勝7敗)を記録して、5シーズン連続の西地区優勝を達成しました。

5月28日・29日、東京体育館にて宇都宮ブレックスとの決勝戦が行われ、2戦先勝方式で2敗となり、悲願の優勝には一步届きませんでした。西地区から初の準優勝に上り詰めました。

選手および関係者の皆さま、本当におめでとうございます!

広報
おきなわ
577号(2022年7月発行)



- 2007-08 bj リーグ参入初シーズン
- 2008-09 bj リーグ初優勝 (西地区 1 位)
- 2011-12 bj リーグ優勝 (西地区 1 位)
- 2013-14
- 2015-16 bj リーグ優勝 (西地区 2 位)
bj リーグ史上最多となる 4 回目の優勝を達成
- 2016-17 B リーグ発足 (NBL と bj リーグの統合)
B リーグ CS 準々決勝 敗退 (西地区 2 位)
- 2017-18 B リーグ CS 準決勝 敗退 (西地区 1 位)
- 2018-19 B リーグ CS 準決勝 敗退 (西地区 1 位)
- 2019-20 西地区 1 位 コロナの影響でシーズン途中終了
- 2020-21 B リーグ CS 準決勝 敗退 (西地区 1 位)
- 2021-22 B リーグ CS 準優勝 (西地区 1 位)



沖縄アリーナで行われた島根スサノオマジックとのCS準決勝戦では、1日目8,020人、2日目8,309人の入場者数を記録し、感染症の影響下で産声をあげた沖縄アリーナが満員のファンで埋め尽くされました。琉球ゴールデンキングスはその応援に応え、劇的な逆転勝利を手にし、会場は大いに盛り上がりました。



提供 琉球ゴールデンキングス



2021-22 シーズン報告会

沖縄市スポーツコンベンション推進協議会が、琉球ゴールデンキングスのホームタウン沖縄市のコザミュージックタウン前で、2021-22シーズン報告会を開催しました。

激戦を戦い抜いた選手らを一見しようと、雨が降る中、2千人超のファンが駆けつけました。

桶谷大ヘッドコーチは「このチームは日本一に値するハードワークをして、チームメイトをリスペクトして、ここの一番でみんなが同じ方向を向いてバスケットボールができるチームでした。このチームと一緒にバスケットボールをやってこれて本当に良かったです。日本一になるためには、皆さんの力が必要ですので、ぜひ末永くキングスを応援してください」とあいさつしました。

岸本隆一選手は「結果としては、自分たちが目標とするところに届きませんでした。チームメイトと一緒に過ごしてきた時間、皆さんと一緒に共有できた時間というのは本当にかげがえのないものでした。皆さんの応援に心から感謝しています」と大勢のファンにお礼の言葉を述べました。

「沖縄をもっと元気に!!」を合言葉に、数々の試合で夢と感動を与えてくれた琉球ゴールデンキングス。

来シーズンは頂点へ GO!KINGS!

